

## 鹿俣山玉原湿原～湿原とブナ林を歩く

山行日 2020年8月2日(日)

参加者 L:N崎 SL:N宮 H谷 M本 T中 K田

コース 新松戸 6:01 = 沼田 9:12/9:20 バス = センターハウス 10:30/10:40 -  
玉原湿原 10:55 - 長沢 11:30 - ブナ平 11:46/12:15 - 鹿俣山 13:35/13:50  
- 分岐 14:50/15:00 - センターハウス 15:40/16:45 バス

リーダーから、“鹿俣山へ行きませんか？”と話しをいただいた時、山の名前を知らず調べてみた。湿原とブナ林が美しい小尾瀬と言われる山と知って、ぜひ行きたいと参加を即決。



長かった梅雨も明けて、コロナ自粛後、数ヶ月ぶりの山行だという方がほとんどの6名が参加した。うれしかったのは、新入会員のT中さんの初参加。待ち合わせ場所で迷わないようにN宮さんが松戸山の会のTシャツを着て来てくれた。やさしいなあ。例会の中止で顔合わせもできなかったT中さんと無事に合流できた。

センターハウスから湿原入口を経て、玉原湿原へ。木道は歩きやすく、一般の観光客の方も散策を楽しんでいた。湿原から鹿俣山へ分岐を越えて進むとブナ林が広がる。ブナ林では、“流浪の民”を歌いたくなるというH谷さんは鼻歌まじりでご機嫌。緑の森を思う存分楽しみながらゆっくりと歩く事ができた。



ササ原を抜けると多少のアップダウン。リフトが見えると、動いてないのか、とか、乗せろ～、とぼやきながらもみんな元気に歩いた。フジバカマが咲く中をトンボが飛び、風も吹いて心地良かった。玉原湖が見える休憩にぴったりの木陰で一休みして、さらに山頂を目指した。

鹿俣山山頂はやや狭く、小休憩の後に下山。ガスが出て眼下の景色がサッと見えなくなったりもしたけれど、大きく崩れることがなかったので良かった。

M本さんいわく、長い梅雨のせいか、今年はキノコが当たり年らしい。赤や白や黄色、紫のキノコも発見。



毒キノコにしか見えない真っ赤なキノコが、タマゴタケという食用のキノコとかリーダーに“講義”を受けながら下山した。

「初めての山行でしたが、楽しく参加できました。リーダーにキノコのレクチャーを受けたのも楽しかったです。」とT中さん。小尾瀬と言われるだけあって、湿原、ブナ林、草原や花畑など半日の山行で様々な表情を楽しめた。今度は新緑の季節に来てみたい。参加の皆さんありがとうございました。(K田 写真は皆さんから)

